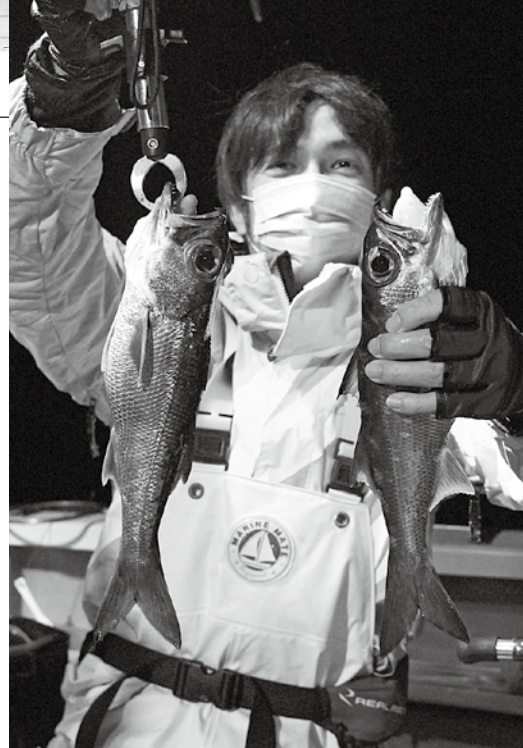


•Tackle Guide
 竿はオモリ負荷80号の7:3~6:4調子で全長2~2.7メートル前後がベスト。キントキのオモリは150号で、仕掛けはフラッシュャサビキ。フラッシュャには動きが悪くなるのでエサは付けない。ムツの仕掛けはオモリ100号の胴つき3本バリ。エサはサバの切り身が支給されるが、釣ったサバをエサにしたリイカやカタクチイワシを持ち込む人もいます。

当日の仕掛け
 竿=リーディングサンイ MH180
 リール=シーボーク 300J
 オモリ=150号

しも投入。すると着底してすぐにアタリがあり、今度はムツ4尾とサバ2尾を取り込む。次の流しでもすぐにアタリが、巻き上げ始めるとプツンとした感覚で道糸が切れてしまった。



▲ムツ狙いは早朝の2~3時間がチャンスタイム
 ▼当日のムツのタナは底付近

南房洲ノ崎港の佐衛美丸では夜明けが遅いこの時期限定で暗いうちはムツ、明るくなってからはキントキ五目というリレー釣りで出船しているとのこと。

釣行したのは12月10日。前日はムツがトップで20尾前後。キントキは2~3尾と数こそ少なかったが代わりにカンコやアマメカサゴにキダイなどが埋め合わせしてくれたようだった。

3時半に受付を済ませ、すぐに船着き場へと移動する。佐衛美丸は電話予約順に船に乗り込み、好きな席を選ぶシステムだ。

幸先よくムツが釣れ上がる

4時10分に私を含めた6名で出船。航程20分ほどでポイントに到着すると、「水深は10メートル。タナは底ベッタリですよ」と船長から開始の合図が出された。通常は底から10メートルほどまでムツは浮くのだが、潮具合なのかこの日はムツが底に固まっているようだ。

この場合、着底して糸フケを取ったら1メートル巻き上げたところアタリを待つ。アタリがなければ静かに竿を上げて再び静かに戻すような誘いが効果的。派手な誘い

▼大型のキントキは抜群にうまい



「逆効果になりかねないので注意が必要だ。カケ上がりや流すので、時折底ダチを取り直すことも忘れてはならない。さっそく「きましたよ」と右舷ミヨシの篠塚さんが声をかけてきた。

タックルをたたくような派手な魚信はムツ特有で、幸先よく2尾のムツを取り込む。「後ろでも釣れているよ」と船長の言葉にトモへ移動すると、すでに篠塚さんが3尾のムツを抜き上げており、笑顔で撮影させてくれた。

左舷トモの治久丸さんも同じく3尾釣り上げ、「友だちからももらったムツの炙りを食べたときの衝撃が忘れられずに今回初めてムツ釣りに来ました」とうれしそう。当日は速潮ながら、一流し1投で確実にムツがヒットしてきたが、4流し目からサバが邪魔をし始めた。

仕掛けを下ろしている途中や巻き上げ中にサバが掛かってきてオマツリが頻発。巻き上げ中にサバが掛かると、道糸にムツの歯が触れて高切れしてしまったりと一気にベースダウン。

ムツ釣りの残り時間も1時間を切ったところで私も竿を出した。

1メートルタナを切ったところで静かに竿を動かしているのがガガッとアタリ。追い食いさせるためしばらく待っている

ミヨシに目を移せば、左舷メカサゴのダブルに続いて40センチオーバーのカンコも釣り上げる。

ほかの皆さんにも根魚がヒットしてきたが肝心のキントキがもつと釣れてくれればと思っていると、右舷ミヨシの篠塚さんが大きく竿を曲げる。これまでにない突っ込みをいなしながら徐々に巻き上げて海面を割ったのは、船長も驚きの45センチもあるキントキだった。

篠塚さんは要領をつかんだのか、しばらくして40センチのキントキも釣り上げて気を吐く。

私も撮影の合間に竿を出したところで船長から、「捨て糸をできるだけ詰めてください」との指示があったので、捨て糸を5センチほど

●船宿information
 南房洲ノ崎港
佐衛美丸
 ☎080-8095-1991
 (詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=クロムツ&キントキ五目乗合 一人1万1000円(エサ、水付き)
 ▶備考=予約乗合、3時半集合。午後アオリイカへも出船

早川 忠信船長

にして底をトントンしている、キダイやカンコなどが釣れ上がったが全部一番下のハリにヒットしていた。

そして沖揚がりの時間を迎える。ムツの釣果は25~50センチが一人8~18尾、キントキは一人0~3尾だったが、ゲストの根魚たちが花を添えてくれた。



▲カンコやアマメカサゴもおいしい魚

おいしいゲストが盛りだくさん 冬期限定のムツ&キントキ狙い

●南房洲ノ崎港発↓洲ノ崎沖 本誌APC(東京)鈴木良和 Yoshikazu Suzuki



「後ろでも釣れているよ」と船長の言葉にトモへ移動すると、すでに篠塚さんが3尾のムツを抜き上げており、笑顔で撮影させてくれた。

左舷トモの治久丸さんも同じく3尾釣り上げ、「友だちからももらったムツの炙りを食べたときの衝撃が忘れられずに今回初めてムツ釣りに来ました」とうれしそう。当日は速潮ながら、一流し1投で確実にムツがヒットしてきたが、4流し目からサバが邪魔をし始めた。

仕掛けを下ろしている途中や巻き上げ中にサバが掛かってきてオマツリが頻発。巻き上げ中にサバが掛かると、道糸にムツの歯が触れて高切れしてしまったりと一気にベースダウン。

ムツ釣りの残り時間も1時間を切ったところで私も竿を出した。

1メートルタナを切ったところで静かに竿を動かしているのがガガッとアタリ。追い食いさせるためしばらく待っている

知得! Tips and Tricks ムツ釣りの便利グッズ

手元が暗いのでヘッドライトが重宝する。また新品のオモリは銀色が目立つためマジックで黒く塗るとサバ対策に役立つ。ムツの歯はガラスのように切れるのでハリ外しは柄の長いペンチで行ったほうがいい。高切れ対策にリールは2組あると安心だが、なければ道糸の予備を用意しておくといい。

▶万全の準備で好釣果を狙いましょう!